

なかやま  
**中山** ごりょう  
**五嶺**(1722~1791)

俳人。松山藩士。松山城下(現、松山市)を中心に活動した人。本名は親宣。中山更互なかやまこうごの甥で、色々な俳諧の伝書を受けている。小倉志山おぐらしざん編『俳諧霜夜塚』に句があり、20代にはすでに河端五雲かわぼたごうんに師事し、俳諧を学んでいたようである。『俳諧器水弁』、『俳諧十七カ条』という2冊の俳論書も著し、更互、志山、五雲亡き後、松山俳壇の中心となり活躍した。

## 略歴

享保7(1722)年	出生
宝暦4(1754)年	『俳諧器水弁』を編集し、刊行
宝暦10(1760)年	『俳諧十七カ条』を編集し、刊行
寛政3(1791)年2月	70歳で永眠

### 〈関連図書〉

- ・景浦勉『伊予俳諧史』 伊予史談会 1958年
- ・星加宗一『愛媛文化双書23 伊予の俳諧』 愛媛文化双書刊行会 1975年
- ・愛媛県史編さん委員会『愛媛県史 文学』 愛媛県 1984年